

## 2000年11月 青葉台東急スクエア（第一期）開業

青葉台駅を中心にした3つの商業施設を再構築

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、田園都市線青葉台駅周辺において、この地域における新たな商業施設のあり方について再構築を行い、西南東急百貨店に一括賃貸していた3つ（6棟）の商業施設＜青葉台東急百貨店、専門店ビル「リクレ」（2棟）、アネックス（3棟）＞を、専門店型SCに業態変更を図り、本年11月に、第1期部分をリニューアルオープンします。

今回、青葉台駅周辺地域の街機能の充実を図るにあたり、各商業施設・フィリアホールなどを含む全体の総称を「青葉台スクエア」とし、そのエリアを単なる買い物の場、通勤の場としてだけでなく、人々がこの街で穏やかな時を過ごしていただけることを基本コンセプトに検討してきました。

今回リニューアルする6棟の商業施設は、それぞれに個性あふれるテナントを誘致することで、常に鮮度が高く提案性を備えた新しい商業施設「青葉台東急スクエア」として開業します。

現時点での「青葉台東急スクエア」における主な出店テナントは、

- ①株良品計画がライフスタイル提案企業として、生活者の視点から開発した「無印良品」とオーガニックベーカリーカフェ「Café é MUJI」を1,100坪という東日本最大規模で出店します。米・豆・パスタ・シリアルの計り売りや、自転車のオプションパーツ、収納用品、オーダーカーテンそれぞれの組合せ方とお見積もりが分かるCD-ROMシュミレーションコーナーも設置します。
- ②株ファーストリテイリングは、今、話題の「ユニクロ」を売り場面積361坪、“日本最大級”の規模で出店します。ユニセックス・レディス・キッズ・雑貨のフルアイテムを大型店ならではの品揃えとスケールで展開します。
- ③イトキン株が20代のOL層の生活を支援するファッションとファッション雑貨を中心に扱う「MK KLEIN+」と20代後半から30代前半のニューファミリー層にベーシック+時代性を取り入れたカジュアルスタイルを提案する「a. v. v」の2店舗を出店します。
- ④株カメガヤは、従来からの化粧品の販売方法であるブランド別、メーカー別での展開ではなく、一店舗の中で豊富に取り揃えた化粧品をアイテムやテイストで分類した新業態の化粧品店「ミュゼ・ド・ポウ」を180坪で出店します。セルフ形式とコンサルティング販売のミックスタイプで、様々なお客様の要望に答えていく新しいスタイルの化粧品専門店です。

ローラアシュレイ、ソニープラザ、紀ノ国屋、三月ウサギなど、根強い人気のあるテナントは現状のまま継続して営業します。なお、現在も営業している、あおば東急百貨店運営の青葉台東急食料品売場は、内容を充実させ、11月より「FOOD PATIO レ・シ・ピ 青葉台」と名称を変更して営業します。

また、「青葉台東急スクエア」の運営は㈱東急マーチャンダイジング アンド マネージメントに委託します。

「青葉台東急スクエア」と主なテナント、運営会社の概要は次の通りです。

### 「青葉台東急スクエア」の概要

○基本コンセプト 青葉台駅周辺地域の充実を図るために、各商業施設・フィリアホールなどを含む全体の総称を「青葉台スクエア」とし、そのエリアを単なる買い物場、通勤の場だけではなく、人々がこの街で穏やかな時を過ごしていただける場を提供していく。

○名 称 青葉台東急スクエア

(各館名称)

新名称		旧名称	
South-1 (サウス・ワン)	—————	青葉台東急百貨店	
South-2 (サウス・トゥー)	—————	青葉台リクレ	南館
North-1 (ノース・ワン)	—————		北館
North-2 (ノース・トゥー)	—————	アネックス	A棟
North-3 (ノース・スリー)	—————		B棟
North-4 (ノース・フォー)	—————		C棟

○所在地 神奈川県横浜市青葉区青葉台2-1-1 他

○延床面積 6館合計で67,475㎡

○駐車場 725台

○開業予定 第一期 2000年11月  
第二期 2001年 春

○リニューアル部分設計 デザインスタジオ コバルト ブルー

○リニューアル部分施工 東急建設株式会社

○予想来館者数 約1,000万人（年間）

○予想売上高 約240億円（年間）

### 現時点での主なテナントの概要

○店舗名 無印良品  
出店者 株式会社良品計画  
本社：東京都豊島区東池袋4-26-3 日交池袋ビル  
出店場所 South-1 2階一部・3階  
出店面積 1,100坪  
内 容 衣服・雑貨、生活雑貨、食品、サービスを柱とした“生活必需品の大型専門店”として品揃えを拡充し、東日本最大規模で出店。また、“焼きたてパン”を中心に、オーガニック食材を使用した、オーガニックベーカリーカフェ「Café MUJI」も同時オープン。

○店舗名 ユニクロ  
出店者 株式会社ファーストリテイリング  
本社：山口県山口市佐山717-1  
出店場所 South-2 B1階・1階  
出店面積 361坪  
内 容 郊外型ショッピングセンターのフラッグシップ店として、ユニセックス・レディス・キッズ・雑貨のフルアイテムを大型店ならではの品揃えとスケールで展開。

○店舗名 MK KLEIN<sup>+</sup>、**a. v. v**  
MICHEL KLEIN PARIS  
出店者 イトキン株式会社  
本社：大阪府大阪市中央区久太郎町2-4-25  
出店場所 South-1 1階  
出店面積 MK KLEIN<sup>+</sup> 112坪  
a. v. v 165坪

内 容 20代のOL層の日常生活をサポートするファッションとファッション雑貨、小物雑貨を豊富に取り揃える「MK KLEIN<sup>+</sup>」と20代後半から30代前半までのニューファミリーをターゲットに、ベーシック+時代性を取り入れたカジュアルを提案する「a. v. v」の2店舗を出店。

○店 舗 名 ミュゼ・ド・ポゥ  
出 店 者 株式会社カメガヤ  
本社：神奈川県横浜市港北区新横浜2-12-4  
出 店 場 所 South-1 1階  
出 店 面 積 180坪  
内 容 セルフ販売を基本にし、豊富に取り揃えた化粧品を今までにない斬新な陳列をした店内と、メイクアップアーティスト常駐、ネイルサロン併設など化粧品に関してのカウンセリングも充実させて出店。

○店 舗 名 FOOD PATIO レ・シ・ピ 青葉台  
出 店 者 株式会社 あおば東急百貨店  
本社：神奈川県横浜市青葉区美しが丘1-7  
出 店 場 所 South-1 B1階  
出 店 面 積 974坪  
内 容 生鮮三品（精肉、鮮魚、野菜）を中心として、毎日のご家庭の必需品をすべて取り揃えたデイリーマート（セルフマーケット）と和洋菓子、総菜、ベーカリーなど約50の専門店とで構成。

#### 株式会社 東急マーチャンダイジング アンド マネージメント の概要

○社 名 株式会社 東急マーチャンダイジング アンド マネージメント  
○所 在 地 東京都渋谷区南平台町5番6号  
○資 本 金 1千万円（東京急行電鉄株式会社100%出資）  
○取締役社長 濱田 達雄

○主な運営受託施設

たまプラーザ東急ショッピングセンター	店舗面積 約30,700㎡
	年間売上高 約340億円
八王子東急スクエア	店舗面積 約11,000㎡
	年間売上高 約88億円

○社 歴	1997年9月2日	会社設立
	1998年2月1日	東京急行電鉄(株)より八王子東急スクエアの運営業務を受託(1997年3月14日開業)
	1998年11月1日	東京急行電鉄(株)よりたまプラーザ東急ショッピングセンターの運営業務を受託
	1999年10月8日	東京急行電鉄(株)からの受託で当社が企画運営するスパイスボックス及び直営店1号店(ナチュラルビューティーベーシック)をたまプラーザ東急ショッピングセンターに開業
	2000年2月9日	東京急行電鉄(株)より東急スクエアガーデンサイト(田園調布駅上)のコンサルティング業務を受託(2000年4月13日開業)
	2000年3月1日	(株)渋谷マークシティよりマークシティモールの運営業務の一部を受託(2000年4月7日開業)
	2000年4月1日	東京急行電鉄(株)よりグランベリーモール(南町田駅前)の運営業務の一部を受託(2000年4月21日開業)

○事業内容	ショッピングセンターの経営、管理業の受託
	各種物販飲食業の経営
	店舗の経営コンサルタント業務  その他

以 上